

2024年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20240822

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	浜松市環境部 環境学習指導員養成講座		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的			
環境に対して知見を深める。環境学習に携わる人を増やす。			
実施内容			
活動日時	2024年8月22日(木) 14:00~16:00		
活動場所	天竜エコテラス (浜松市天竜区青谷1461)		
活動者名	高根美保		
詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市のごみの現状 ・リサイクルについて ・ごみ問題に対して各自でできる取り組み ・食品ロス問題と対策 ・海洋プラスチックごみ問題について ・西部清掃工場・えこはまの紹介 ・環境教育の醍醐味 		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜エコテラスの施設見学 参加者 14名+行政3名 配布物:ごみ減量リーフレット・スッカリ エコ自慢冊子・雑がみ啓発PP・紙容器リサイクル事業チラシ・回収袋 ※必要な人に必要部数を持帰ってもらった。 <リサイクル体験> ごみ減量 2.0kg 紙容器リサイクル 0.2kg /アルミ付き紙パック 0.65kg /ハブラシ 96本 1.0kg /使用済ペン 20本 0.15kg ・持ち込み商品の分別と計量を行うことで、正しい出し方を説明した。 <説明> ・浜松市西部清掃工場の啓発活動の内容と成果を説明 ・環境啓発事業の進め方「Plan→ Do→ Check→ Act」の4段階を繰り返し行い各事業を継続的に改善する方法を説明。 ・ごみ減量行動として各種のリサイクル行動を紹介。しかし、リサイクルが優等生ではないことを説明。 ・市民一人ひとりの行動変容が、地球をまもるだけでなく、私たちの生活が豊かな暮らしやすも生活になることの説明。 <質問> ・紙容器リサイクル事業は、いつまで実証実験を続けるのか？ ・紙容器リサイクル事業が実証実験で得られるモノとは何か？ ・容リ法で対象となる商品は？ ・マイクロプラスチックが人体に及ぼす影響は？ ・LFCコンポストの投入量と発生した生ごみ量の差は何か？ 		
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・えこはまでの啓発活動は、16年目となった。しかし、未だに活動内容を「知らなかった」「こんなに沢山の活動を行っているとは驚いた」など認知されていない人が多かった。今後、啓発活動の広め方を再検討する必要があると感じた。 		

